第4回大会を盛り上げた参加選手たち

駒大苫4連覇、2位道栄

最優秀選手賞に安部(駒大苫)

高校バスケットクローバーカップ

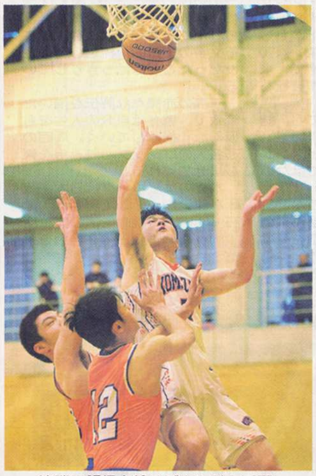
高校バスケットボールの第4回クローバーカップ(実行委員会主催)が6〜8日、苫小牧駒沢大学体育館で開かれた。全道の6チームが熱戦を展開した男子は、駒大苫小牧が大会4連覇を達成。最優秀選手賞に選出された安部龍馬(2年)は、「自分のやるべきことを考えながら、粘り強くプレーできた。絶対に勝つ気持ちだった」と胸を張った。

北海道栄が準優勝。女子の部も初開催され、道栄と小樽地区の双葉が激突し、1勝1分けで双葉に軍配が上がった。

冬休みを利用したチーム間交流と強化を目的に毎年、苫小牧で開催されているイベント。参戦校の大半が全道新人大会(25〜28日、帯広市など)出場を控える。道栄のゲーリー・ステファン・星音主将(2年)は、「チーム力を高めることができた」と手応えを口にする。

各地区予選で全道出場を逃したチームも、新年度の公式戦ラッシュに向け課題を見つけた様子。札幌清田の細矢舜平主将(2年)は、「もっと体を強くしないといけない。当たり負けしないように鍛えたい」と意気込んでいた。

札幌を拠点に観光業を手掛けるクローバープラン(佐藤洋紀代表)が主管し、クローバー観光、日信、オンザコート、北海道コカ・コーラボトリング、ホテルステイヴィレッジなどが協賛した。佐藤代表は、「大会を通じて少しずつでも成長していってほしい」と期待を込めた。



決勝で27得点16リバウンドと活躍した駒大苫・安部

【戦績】

▽優勝決定戦

駒大苫小牧 87 (17―20、27―11、26―5、17―5) 41 北海道栄

▽3・4位決定戦　北海63―52札幌東▽5・6位決定戦　帯広大谷72―66札幌清田

▽予選リーグ　駒大苫小牧132―42札幌清田、帯広大谷79―30札幌清田、札幌東73―68帯広大谷、札幌東67―58北海、北海道栄57―56北海、駒大苫小牧100―46帯広大谷、札幌東76―47札幌清田、北海62―53帯広大谷、北海道栄68―41札幌東、駒大苫小牧93―49札幌東、北海69―58札幌清田、北海道栄54―45帯広大谷、駒大苫小牧123―42北海、北海道栄89―60札幌清田、駒大苫小牧91―38北海道栄

▽女子　北海道栄57―57双葉、双葉73―58北海道栄

【個人賞】

▽最優秀選手　安部龍馬(駒大苫小牧)▽優秀選手　渡部泰輔(北海道栄)▽殊勲賞　里村聡大(北海)▽敢闘賞　金内健人(札幌東)▽特別賞　佐藤駿成(帯広大谷)、細矢舜平(札幌清田)▽大会委員長賞　内木主道(駒大苫小牧)▽得点王　後藤聖(札幌東)▽クローバー賞　佐々木瑞稀(駒大苫小牧)、ゲーリー・ステファン・星音、大矢倫(以上北海道栄)、安田龍生、菊池諄(以上北海)、渡部幹太(札幌東)、宮本鷹、佐藤岳斗(以上帯広大谷)、齋藤維吹(札幌清田)

佐藤さんがミニライブ

昨冬にメジャーデビューを果たした札幌出身の歌手佐藤広大さん(32)が8日、苫駒大体育館でミニライブを行った。参加選手や保護者、駆け付けたファンらを前に美声を惜しげ披露。大会のフィナーレを華々しく飾った。

「きょうのみんなのキラキラした姿を見ていたら、もっと励ましたくなった」と5日に封切りされたばかりの映画「嘘八百」の主題歌「イチゴイチエ」など、予定よりも多い計3曲を熱唱。ノリノリで手拍子や手を振る選手たちの姿に、終始笑顔だった。

熱唱する佐藤広大さん

高校2年生のときに失った親友との約束を果たすため、北海道を拠点に地道に活動してきた努力の人。31日には念願のファーストフルアルバム「19BOX」のリリースを控えるなど、スターへの階段を着実に上っている。

「自分も頑張るので、みんなも最高の青春を送ってくださいね」と選手たちにエールを送った。

「おいしい」と選手も笑顔に

自衛隊員 豚汁振る舞う

クローバーカップ開催中の7日、とまこまいスケートまつりの雪像造り支援などでおなじみの陸上自衛隊第7師団第73戦車連隊(南恵庭駐屯地)が炊き出しを行った。隊員16人が「野外炊具1号」と呼ばれる装備を駆使し、約200人分の豚汁を作り、選手や競技関係者らに振る舞った。

自衛隊札幌地方協力本部によるPR活動の一環として、初めて企画された。具材は大会実行委員会側が用意。昼食の時間に向けて、早朝から調理を進めてきた。

おいしそうな匂いに誘われ、次々と豚汁を受け取った選手たち。ひと口汁をすすると、「うまい!」「めっちゃおいしい!」と感激していた。道栄女子バスケットボール部の菊池佳穂(1年)は、「家のとはまた別な味でおいしい。とても温まりました」と笑顔を見せた。

同本部広報企画室長の藤田吉永2等陸佐は、「自衛隊のことを少しでも知ってもらう機会になれば」と期待していた。

隊員から豚汁を受け取る大会出場選手たち

Bバレット栄冠

全道制覇を果たしたバーニングバレット(提供)

幕別浦幌に競り勝つ

全道小学IH選手権

第38回全道小学生アイスホッケー選手権大会は最終日の8日、釧路市の日本製紙アイスアリーナで決勝と3位決定戦が行われた。決勝では苫小牧第1代表のバーニングバレットが6―4で幕別浦幌アイスホッケー少年団(帯広)を下し、全道制覇を果たした。同大会では3年連続で苫小牧勢が優勝した。また、3位決定戦では昭和小学校アイスホッケー同好会(釧路)とVortex大空(帯広)が対決し、6―2で昭和小学校アイスホッケー同好会が勝利し、3位となった。

6日に開幕した今大会には、苫小牧、札幌、帯広、釧路、旭川の5地区の予選会を勝ち上がった14チームが参加。全道制覇を目指し、3日間にわたってトーナメント戦が繰り広げられた。主催は道アイスホッケー連盟など、主管は釧路アイスホッケー連盟。

▽決勝

バーニングバレット 6 (3―2、0―1、3―1) 4 幕別浦幌少年団

▽3位決定戦

昭和小学校同好会 6 (1―2、3―0、2―0) 2 Vortex大空

IH女子U18世界選手権開幕

日本 白星スタート イタリアに完封勝ち

アイスホッケー・2018IIHF女子U18(18歳以下)世界選手権ディビジョンI・グループA(2部相当)がイタリア・アシアゴで現地時間の8日、開幕した。日本は開催国のイタリアと激突し、2―0で完封勝ち。白星スタートを切った。

日本は相手の反則によるパワープレーを獲得して迎えた第1ピリオド14分、小山玲弥(西武プリンセスラビッツ)のゴールで先制。その後、長いこう着状態が続く中、第3ピリオド7分に山下光(道路建設ペリグリン)が貴重な追加点を奪い、駄目を押した。

また、守っては、先発マスクをかぶった中学2年のGK佐々木玲果(トヨタシグナス)が相手のシュートを難なくさばいた。

大会は日本をはじめとする6カ国が出場。14日まで1回総当たり戦を繰り広げ、優勝国に来年度のトップディビジョン(1部相当)昇格権が与えられる。苫小牧関係では、道路建設ペリグリンから黒須若菜、山下光、輪島夢叶のFW3人とDF山下栞、トヨタシグナスからGK佐々木が選ばれている。

日本 勝点3　2 (1―0、0―0、1―0) 0　イタリア 勝点0

▽得点者【日】小山(志賀)山下光(佐藤愛)▽GK【日】佐々木

スロバキア 勝点3　6 (3―1、1―1、2―0) 2　ハンガリー 勝点0

オーストリア 勝点3　3 (0―1、3―0、0―0) 1　ノルウェー 勝点0

ダイナックス本戦切符つかむ

日ア連会長杯道予選 タダノ破る

第6回日本アイスホッケー連盟会長杯北海道予選会の最終日は8日、旭川大雪アリーナで敗者決定トーナメント3回戦を行い、苫小牧のダイナックスが7―2でタダノ(帯広)に快勝し、本戦最後の1枠を獲得した。本戦となる全国大会は2月23〜25日の3日間、青森県八戸市で開催。道内からはダイナックスの他、苫小牧市役所、新日鐵住金室蘭、釧路厚生社が出場する。

▽敗者決定トーナメント3回戦

ダイナックス 7 (2―1、1―1、4―0) 2 タダノ

▽得点者【ダ】山野下(小原、田中)今野(山野下、田中)牧口祐(大澤卓、今野)山野下(生田、田中)小原(山野下、生田)今野(池田)小原(大澤翔)【タ】佐々木(小原)中井(沖津、中口)▽GK【ダ】大澤啓【タ】田中

全道教職員IH始まる

苫Cと苫D 初戦を快勝

第43回全道教職員アイスホッケー大会が8日、苫小牧市沼ノ端スケートセンター、ときわスケートセンターの2会場で開幕した。

今大会は、全道8都市から小中高の教職員でつくる15チームが参加。C、D、Eのクラス別に分かれ、3日間トーナメント戦やリーグ戦で頂点を競う。初日の8日は6試合が行われ、リーグ戦で争われるC級では苫小牧Cが、トーナメント戦で行われるD級では苫小牧D、西胆振D、旭川Dが、E級では札幌E、釧路Eがそれぞれ勝利した。北海道教職員アイスホッケー連盟主催し、苫小牧教職員アイスホッケー協会が主管する。

E級トーナメント戦〔札幌E―苫小牧E〕試合序盤、ゴール前の激しい攻防

試合結果は次の通り。

▽C級リーグ戦

苫小牧C 12 (1―2、5―0、6―3) 5 帯広C

▽得点者【苫】伊吹(赤木、関崎)伊藤、伊吹(山本)種田(伊吹)池田(矢野、水内)伊吹(伊藤)伊藤(齋藤)関崎(伊吹)種田(伊吹)池田(伊藤、栗山)関崎(種田、片桐)種田(関崎)【帯】中西(高川)福原、高橋、福原、高橋(福原)▽GK【苫】溝渕【帯】鈴木

▽D級トーナメント戦

苫小牧D 10 (5―2、3―1、2―3) 6 札幌D

▽得点者【苫】藤原(上田)上田(福岡)外川(佐藤)佐藤、上田(藤原)佐藤(宮脇、外川)水橋、塚本(藤原)外川(塚本)外川(塚本)【札】増子、太田(黒田)増子、太田、紀藤(小林)小林(盛川)▽GK【苫】斎藤【札】前田

西胆振D 4 (1―0、1―0、2―1) 1 後志D

旭川D 4 (0―2、4―0、0―0) 2 帯広D

▽E級トーナメント戦

札幌E 7 (3―0、2―3、2―2) 5 苫小牧E

▽得点者【札】青田、武田(青田)武田(永澤)野中、田中(野中)野中、武田(永澤)【苫】藤井(ロバート)鬼頭、ロバート(山内)藤井(ロバート)藤井(鬼頭)▽GK【札】野々垣【苫】山田

釧路E 4 (1―2、1―1、2―0) 3 帯広E

白鵬、張り手「直さないと」 大相撲

白鵬が8日、東京都墨田区の友綱部屋へ出稽古し、魁聖や十両の旭秀鵬らと16番取った。ほとんどが圧倒した内容だったものの、「まだいつもの感覚と違う。数をやって土俵勘を取り戻したい」と言い、調整ペースを上げていく構えだ。

最後の一番では魁聖を右から張った。横綱審議委員会でも張り手に苦言を呈されただけに、「なるべく癖を直していかないと。稽古で直していきたい」と反省を込めて話した。

新年の始めに心地よい汗を流す参加者たち

王子製紙と秀峰館少年団

気持ち新たに合同初稽古　柔道

苫小牧の王子製紙柔道部(中内一裕部長)と秀峰館柔道少年団(早川信隆代表)は8日、市内王子町の秀峰館王子道場で2018年の初稽古を行った。今年で17年目となる新春恒例の行事で、幼稚園の年長組から社会人まで約15人の選手たちが参加。それぞれ新たな気持ちを持って稽古に臨んだ。

最初に入念なウオーミングアップをした選手たちは、畳の上で体力強化トレーニングや寝技練習、乱取りなどの基礎練習を行い、気持ちの良い汗を流した。昨年けがの影響で思うような成績を残せなかったという少年団男子の石岡響(ひびき・美園小5年)は「けがで体力が落ちているので、基礎練習をしっかり行い、全道大会まで行きたい」と意気込んだ。少年団女子最上級生の三品愛(光洋中3年)は「積極的に攻める姿勢を忘れずに練習に取り組みたい」と語った。

同柔道部の桂田尚登マネジャー兼コーチは「合同練習は交流が生まれる貴重な機会。お互いに切磋琢磨(せっさたくま)しながらやっていきたい」と話す。早川代表も「練習のときから全力を尽くし、今年も良い成績を収めてほしい」と期待を寄せていた。

アイスホッケー

◇第13回2017年度オールドタイマーリーグ(8日、苫小牧市沼ノ端スケートセンター)

クレイGGZ 11 (4―1、3―1、4―0) 2 オールドタイムベアーズ

◇北海道フットサルリーグ・第1回道南ブロックリーグ2017(7日、北広島市総合体育館)

▽第9節

BYⅡ 勝点13　7 (5―2、2―2) 4　ドミナール 勝点17

▽得点者【B】菊池2、中出、松下、赤坂、大倉、澤田【ド】菊地、佐藤昴、工藤、天谷

ミラティ(勝点15)14―5ライズフット(4)